



栄町と神崎町で出前あすなろ塾を開催しました。栄町では「保護者との関係づくり～生徒指導・保護者対応のケース演習」と「分かる・できる授業づくり」の研修に9名の先生方が、神崎町では「児童生徒同士の信頼関係づくり」と「資質・能力を育む主体的・対話的で深い学び」の研修に17名の先生方が参加しました。研修は、講話や演習に話し合い等、とても盛りだくさんの内容でしたが、参加者の皆さんは、今後のよりよい学級づくりや授業づくりに向けて、非常に熱心に取り組まれました。

栄町 (令和7年6月6日)

当日の様子と 参加者の声



多様な考えをもつ保護者に対して今までは不安や大変さを感じていました。今日の研修を通して、話を傾聴し互いに納得できる形になれるよう、来週より取り組んでいきたいです。



改めて今後、気をつけていきたいと思うことが増えていきました。また、「もう慣れたから」ではなく、どんな時でも保護者対応に関してはひとつひとつの言動を丁寧に行なっていくことを大切にしていきます。



実際に自身で体験をしたり、他の学校の先生方と意見交換できたり、勉強になりました。いろいろな視点で話をすることが大切だとわかりました。

神崎町 (令和7年6月9日)

当日の様子と 参加者の声



主体的・対話的で深い学びが具体的によくわかりました。学級づくりのポイントも演習を行うことで考えを共有できたので今後にかしていきたいと思います。

授業、学級経営二つの面で、「なんとなく」の部分言葉を明確なものにすることができました。

ピクトグラムで焦点化したことで、より具体的な手立てを思いつくことができました。

指導案を見つめ直すことで、新たな課題が見つかり、「これからどうすればよいか」というテーマが見えました。



信頼関係づくりや授業づくりについてのポイントを深く考えることのできる研修になりました。

様々な捉え方があることを知ることができました。今後も自分の引き出しを増やしていけるようにしたいです。